

WHO ファクトシート

トラコーマ

Trachoma

2017 年 7 月

重要な事実

- ・トラコーマは、クラミジア・トラコマチスという細菌が感染して起きる目の疾患である。
- ・41 カ国での公衆衛生課題となっていることが知られており、約 190 万人の失明や視力障害の原因となっている。2016 年には 1 億 9020 万人の人々は、トラコーマの流行地域に住んでおり、トラコーマによる失明リスクにさらされている。
- ・トラコーマによる失明は回復不可能である。
- ・感染は、個々人の接触(手、衣服又は寝具を経由)や、感染した人の目や鼻からの排出物に触れたハエによって広がる。永年にわたり感染を繰り返した場合には、睫毛が内側に下がって目の表面をこすり、痛みや不快感や角膜への永久的損傷を起こす。
- ・1998 年の WHO 総会は、公衆衛生課題としてトラコーマのグローバルな根絶を目指した WHA51.11 決議を採択した。
- ・根絶戦略は、(S) 進行した疾病への手術、(A) クラミジア・トラコマチス除去の抗生物質、(F) 顔の清潔化、(E) 感染を減らす環境改善の頭文字をとった SAFE にまとめられている。
- ・2016 年には、26 万人以上の人々が、病気が進んだための外科的治療を受け、8500 万人がトラコーマの抗生物質治療を受けている。世界全体での抗生物質投与率は 44.8%であり、2015 年実績の 29.6%に比べて、かなりの増加となった。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Trachoma ファクトシート原文は [こちら](#)